

COLUMN: 先生紹介 ▶ 松永 知也 (今津教室)

一生懸命になる経験ができた、中学時代！



はじめまして。今津教室で集団クラスと個別クラスを担当している松永知也です。僕もかつて、生徒の皆さんと同じようにカイチに通い、中学3年間お世話になりました。大学生となった今、教えられ側から教える側になり、カイチで働いています。

まず、はじめに自己紹介をさせていただきます。僕は、小学6年生の終わり頃に幼馴染の友達に誘われてカイチに入塾しました。もともと塾に行くつもりはなかったのですが、友達がとても楽し

そうに通っているのを見て自分も行きたいと思ったのが入塾理由でした。

初めて体験授業に行った日、特に衝撃だったのはカイチの先生(特に小田先生)の面白さとパワフルさでした。勉強が好きでも嫌いでも無かった僕でしたが、とにかくカイチに通うのがとても楽しかったです。それで自然と勉強をするようになりました。

そして、カイチ流の勉強法を教えてもらい、勉強をすると成績が上がり、先生に褒められるのが嬉しくて、だんだんと勉強に力が入るようになりました。

がむしゃらに頑張った初めての模擬試験で1位を取れたことは今でも忘れていません。この経験により自分は「勉強が得意だ」という意識が生まれました。自分に自信が持てるようになり、勉強

では負けたくないという意地も出てきて、負けると落ち込むようなこともありました。3年間色々なことがありましたが、カイチでお世話になり、無事志望校に合格できました。

当時のことを振り返って思うのは、中学生の時に何かで一生懸命になるような経験ができたことがとてもラッキーだったということです。そして、それをカイチでできたのはもっとラッキーなことでした。このような経験は行動や意識を変えてくれます。

そして、今度は僕がした経験をカイチに通っている皆さんにも経験してもらいたいと思っています。

そのために僕は全力で皆さんと向き合いたいと思いますので、これからよろしくお願いします。

熊谷の
ちょっと

TEACHER'S VOICE

熊谷 周作 (今津教室)

今津小学部の自慢話

最近今津教室の小学生達が良く頑張っています。今回は、今津の担当講師として、彼らの様子について書きたいと思います。昨年度は診断テストの上位者表に名前が載っていた今津生は僅か1人でしたが、今年は5人載るまでになりました。これは、みんなが少しずつ勉強の仕方を身に付けるようになった結果だと思っています。

今津生の変化の1つ目として、質問の質の変化が挙げられると思います。以前の今津生達の質問は、調べれば分かるものが多く、ここを見なさいと指示することが度々ありました。しかし、最近の質問は、調べたが分からない、もしくはここまで考えたがこの先が分からないという質の高い質問に変わってきました。このような質問の利点は、私が少し教えると、それが気付きになって「あっ、わかった」となることです。自分で気付けたことは、絶対に忘れません。これからも、このような質問を続けて欲しいと思います。また次に、授業内の発言が増えました。今津

教室は、カイチの他教室に比べれば、まだまだ小さな教室です。しかし、活気は負けていません。授業中も、私の質問に対して、子供達はどんどん発言してくれます。たまに、ウケを狙ったものもありますが…。しかし、授業中に冗談を言えるのは、授業に参加している証拠です。勉強に対して、積極的な姿勢があること。これは今津生のとても良いところです。

最後に、診断テスト前の土曜日、自主勉強に来る子が増えました。これは、何より嬉しいことです。なぜなら、それは勉強に対する自主性の表れだから。勉強を自分から進んでするようになってくれる、子供達が塾のない日に塾に来てくれる。これは私にとって誇らしいことです。

子供達は皆、可能性の塊です。少しのきっかけで大きく変わり、少しばかりの挫折は笑い飛ばす元気があります。私は彼らに教えながら、彼らに教わり、時に助けられ、この仕事が出来ていると思います。診断テストの上位者表が今

津一色になるその日まで、がんばりたいと思います。



生徒と保護者と先生の共有ニュースレター

Growing

July 2017
Vol. 59

毎月10日発行

【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467



高木 秀章 (塾長)

夏期講習が始まります。
志望校合格を見据えた勉強こそが
合格の秘訣。

期末テストも終わり、このGROWINGが配られる頃には、中学3年生の三者懇談会の真っ最中だと思います。今回の懇談会では、目的意識を持ち夏期講習と秋の受験勉強に挑むために、志望校を決定することがテーマです。塾では皆さんとご家庭のご意向を聞き、その上で、私達が今までのデータや経験から、目標にして欲しい高校を提案し、志望校を決定しますが、大切なことは、受験生である皆さんが、その学校に通うことで明るい将来が見え、通学する自分に誇りや憧れを抱けるかどうかです。

私は高校入試において、この志望校の決定が最も大切だと考えています。志望校が決まることで、目標とすべき偏差値と内申点が具体的にになり、現在の自分の学力との差が明らかになります。その差を埋める作業が受験勉強ですが、最初はとても遠い道のりに感じると思います。成績が順調に伸びていけばいいのですが、伸び悩むことももちろんあります。時には周り自分と自分を比べてしまい、焦りのあまり勉強が手に付かないこともあるかもしれません。

その時、前に進む原動力となるのが志望校合格への思いです。最後は周りを見ず、自分の足下と、志望校の合格だけを見据えて粛々と歩みを進める。皆さんの先輩達もそうやって志望校に合格していきました。もし、懇談会で決定した志望校がしっかりこない場合は各教室にもう一度相談してください。また、志望校を出来るだけ早く見学することをお勧めします。オープンスクールなどが開催されていなくても、実際の交通機関を使い、正門まででも行ってください。その時に感じる、緊張感、学校や先輩達の雰囲気、町並みの全てが、受験勉強に取り組む理由となり力となります。

既に始まっている志望校レベル別講座や夏期講習では、全教科においてやり切らなければならない課題とその期日が決まっています。また、毎回の授業では、前回の授業理解を確認する小テストが行われ、合格点が取れるまで補講で再テストを繰り返します。私達は、それらの全てをチェックシートで確認し、生徒達の進捗状況を把握(叱ったり、注意したり、励ましたり)しながら、勉強を進めます。

このような指導で、例年、受験生達は偏差値を平均で3~4(高校ランクで1ランク、昨年度は最高で偏差値16)伸ばします。昨年度の受験生(188)は中1入会時から卒業までで、偏差値を平均8.2ポイント伸ばしま



した。しかし、上記はあくまでも平均であり、実際には、偏差値の伸びには個人差があります。

同じ指導を行っても大きな差が出る、その原因は何か?ここでも問題になるのは「志望校合格を見据えて勉強しているかどうか」です。

将来に繋がる志望校合格のために勉強している人と、親や先生に叱られないように、また、補習が嫌だからという理由で作業のように勉強に取り組む人では、成果が違うのは当然です。

塾では、夏期講習前に、公立入試問題を授業内で演習し、各生徒の志望校に応じて、実際の入試では、どのレベルの問題をどれだけの早さで解いて正解しなければならないかを指導します。そうすることで、夏期講習においても、正解すべき問題とそうでない問題の区別が付くことで学習効率上がり、普段から問題を解く時間や、見直しを行い解答の正確さを高めることに意識が向くようになります。

受験は自分の進路を自分の力で選択できる、人生最大のチャンスです。皆さんは、自分の意志に基づく努力と工夫によって、自分の人生を選択できる岐路に立っています。どうか、最後まで諦めず、精一杯を出し切って悔いの残らない受験にしてください。中学3年生の夏は二度と戻って来ません。

私達も、精一杯皆さんをバックアップします。来年には、この夏期講習がいい思い出になるように、みんなで頑張りましょう。

保護者の皆様へ

夏期講習は長丁場ですので、子供達の体調面にはくれぐれもご注意ください。体調を崩し講習会を欠席された場合、欠席分の宿題と補講が負担となり、勉強のリズムを崩す原因になりかねません。冷房対策として長袖の上着の持参と、深夜の勉強を避け、早朝に勉強することを意識していただければと思います。ご心配もおありだと思いますが、精一杯指導してまいりますので宜しくお願いいたします。

カイチからの
お知らせ

- 学習部は7月24日(月)~8月24日(木)は夏期講習期間となり、通常授業と指導曜日・時間が異なります。詳しくは夏期講習のお知らせに記載しております。
- 夏期講習欠席生のために補講日を設けています。補講日時については講習会のお知らせをご参照ください。
- 8月11日(金)~8月17日(木)・8月26日(土)~8月31日(木)は休講日とさせていただきます。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

諸口教室の今。 新しい先生達が頑張っています！ いよいよ世代交代か？

坪田 陽一（諸口教室）

今回は諸口教室のそれぞれの「今」をお伝えします。

この記事を書いているのは6月中旬。珠算の生徒達の中で検定を受けるのは上級検定が14名、段位認定試験が2名。6月25日に向けて今必死に練習を重ねています。こういう習い事は毎日コツコツ練習をしないとすぐに腕が鈍ります。真面目に取り組んできた子は、特に焦ることなくやるべき事をやるだけですが、そうでない子は今までの練習不足のツケを取り戻さないといけません。高木先生を中心に、須田先生と久佐先生とで合格に向けて、一人一人に目を配って指導しています。結果が今から楽しみ(不安?)です。

トーキングキッズは、現在16名の子供達が通ってくれています。私が担当するパスカルキッズの教室の隣で授業をしているのですが、いつもとても楽しそう。パスカルとトーキングキッズ両方に通っている子は、みんな口をそろえて「英語楽しい」と言います。音楽を流したり興味を引く映像を見せたりして楽しませ、そうかと思えばテストを実施したりと、硬軟織り交ぜながら英語力を鍛えています。マーク先生も、授業時間外に廊下などで「Hey!○○」と生徒を呼んで話しかけ、生徒もそれに英語と日本語を巧みに(?)使い分けながら答えています。それを見て、カイチも本当に国際的になったなあとしみじみ。私も英語を頑張らねば!

その隣のパスカルキッズですが、小3生だけで現在10名ほど在籍しています。来年は小4で、そのまま学習部に通う子がほとんどですので、学習態度や家庭学習の必要性等を今一度指導しているところ。ダラダラしていたりボーッとしたり、疲れている時は仕方ないと思ってしまうのですが、それでも心を鬼にして注意します。「自分に負けるな!」と活を入れると、みんな素直にもう一度一生懸命頭を回転させ始めます。きちんとやり遂げたら「そう、やればできるやん!」と声をかけます。そうこうしている間に子供達がいつの間にか成長しているのを感じるの、先生をして一番の喜びです。「カルコク」という、数字を指定してその答えになる計算式を素早く作るゲームがあるのですが、年長から通っている子は、なかなか手強い相手に成長しました。「本気でやらなければやられる」と、年齢差関係なく真剣勝負を日々繰り返しています。

小学部は、今は塾の時期。特に小4は、診断

テストの勉強の仕方、宿題の重要性、授業の受け方や姿勢など、ことあるごとに指導しています。また小5、6でも、慣れてきて要領がよくなってくる反面、先生の目を盗んで手を抜こうとする子もいますので、注意して見えています。例えば、先生の解説中、話を聞かずテキストの違う問題を解いていた、違う教科の勉強をしていたりする子を見かけると、厳しく叱ります。先生に対して失礼な行為であることも理由の一つですが、話を聞かないことで、結局理解が深まらず、点数は取れるけれど本当のところよく分かっていない、という状態に陥ってしまうからです。きちんと先生の話に耳を傾けることで、例えばすでに理解している(と思っている)ことであっても、「あれ、なぜだろう」という疑問が生じ、その疑問を解決していくことでより深い理解に至ります。そういった質問をしてくる子は中学生になってもよく伸びていきます。逆に診断テストで高得点を取れても、表面だけの理解で満足しては、中学生になって伸び悩むことになりかねません。小学生の時期はきちんと話を聞き、地力をつけることが大事。そういった学習姿勢が身に付くような指導を心がけています。

中学部は、大きく2つの変化がありました。1つ目は、タブレットを用いた映像授業の導入。これについては5月号で高木先生も触れていますが、導入してから3か月、どうやらすっかり慣れたようです。これにより、演習量は明らかに増えました。気になる中間テストの結果も、例えば中1では12名が5科計450点以上、25名が400点以上と、簡単だったとはいえよく頑張ってくれました。ただ、慣れてきた反面、使い方を間違える生徒も出てきました。ただ視聴しているだけで勉強した気になり、演習をおろそかにしてしまったり、せっかく先生が生で授業をしてもタブレットをいじっていたり…。あくまでもタブレットは「道具」にすぎません。使いこなせば大きな可能性を秘めています。それから振り回されては意味がないのです。使い方については、生徒の様子を見て回りながら今後も注意をしていきます。

2つ目は、新しい先生の登場です。集団指導の方では藤岡先生、谷口先生、岩崎先生。個別指導では中山先生や山田先生、倉先生。それぞれ研修をしながら授業を持ってもらっていますが、自分で演習する過去問を選んできたり、生徒の答案を全員分分析したりと、積極的に取り組ん

でくれています。そのパワーに私達社員もいい刺激を受けています。自習中も若い先生の方に生徒達からの質問が集中します。教えている内容を聞いてみると、確かに未熟な部分はありますが(細かく教えずぎたり、回りくどかったり)、それでも生徒達は「分かった!」と笑顔で戻っていきます。年齢が近い分、気持ちが通じやすいのでしょうか。また、たまに高校や大学でのリアルな話もしてくるので、生徒達も興味津々に質問攻めです。

将棋界では藤井四段、卓球界では張本選手と、ここ最近若い世代が躍進中ですが、ここ諸口教室も若い先生達が今、乗りに乗っています。彼らがきちんと活躍できるように環境を整え、研修やアドバイス、フォローを行いながら先生として育てていくことが私達社員の主な仕事となります。もうすぐ夏期講習。生徒達一人一人が成長して目標を達成できるように、諸口教室のスタッフ全員一丸となって指導に臨みます。



▲計算式を素早く作るゲーム「カルコク」



Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



カイチの夏期講習スタート! ～充実した夏休みにするために～

熊谷 真宏（今福教室）

梅雨が明け、暑い夏がやってきました。1学期も終盤を迎え、いよいよ夏休みが始まります。すでに旅行などの予定が決まっています、今からワクワクしている人も多いのではないのでしょうか。

さて、カイチでは今年もまた、夏休み期間の7月24日(月)から8月24日(木)に夏期講習を行います。夏期講習期間中は小学部・中学部ともに通常授業がなくなり、すべて夏期講習用の時間割へと切り替わります。各詳細は別途お配りするお知らせにてご確認ください。まとまった時間が取れる夏休みは、前学年や1学期までの学習内容を復習できる大きなチャンスです。ここで自分の不理解箇所をしっかりと克服しておくことによって、2学期以降の学習の理解度が大きく変わってきます。各学年の生活面や夏期講習でのポイントをまとめておきますので、ぜひ参考にしてみてください。皆さんと先生達とで、一緒に充実した「アツイ」夏休みをしましょう!

【小学4年生～6年生】

小学部の夏期講習は午前9時からスタートします。せっかく学校が休みなので、朝ゆっくり寝たい気持ちはよく分かりますが、朝から塾があることによって、規則正しい生活リズムが生まれます。朝ダラダラしてしまうと生活リズムが崩れて、無駄な時間が生まれがちですが、規則正しい生活になると時間を有効に使うことができます。午前中は夏期講習で頭を使って脳を目覚めさせ、家に帰ったらすぐにその日の宿題に取り掛かりましょう。このときに学校の宿題も併せてやっておくと、夏休みの最後に慌てなくて済みます。午後2時くらいを目安に勉強を終わらせれば、残りの時間は自由時間。自分の好きなことに打ち込みます。

小学部の授業では、国語と算数は夏期講習テキストを使って重要単元を復習し、理科と社会はフリーラーニングで弱点の克服を目指します。国語では、先生が黒板を使って説明文や物語の読み方、問題の解き方のポイント丁寧な説明をします。算数では、基礎問題から応用問題まで先生が解き方を説明し、問題演習で一人一人の理解度を確認していきます。どちらの教科も、しっかりと先生の板書をノートに取るのがポイント。家で宿題をするときに戻り学習が可能になります。集中して丁寧にノートを書くよう心掛けてください。

【中学1年生】

4月に入学してから、怒涛のように過ぎていった1学期。夏休みに入り、ようやく一息つけるかと

思いきや、部活動で毎日忙しい子達も多いかと思えます。ようやく基礎体力がついてくる時期でもありますが、やはり一番暑いこの時期、熱中症にはくれぐれも注意してください。屋内・屋外に関わらず、こまめに水分を補給することを心掛けましょう。また、中学生になってからはご家庭によって門限が少し遅くなったりする場合もあるかと思いますが、塾のない日はなるべく日没前の明るいうちに帰宅するようにしましょう。

中1で特に重要な教科は英語と数学の2つ。どちらの教科にも共通しているのは、積み上げ学習が必要であるということ。1学期の学習内容はしっかりと理解できていますか?英語ではbe動詞と一般動詞、数学では文字式と方程式。これらは中学校3年間の学習の基礎の部分、つまり土台となります。この土台がしっかりしていなければ、2学期以降の学習がすべて崩れてしまいます。「中1の1学期からもっと勉強を頑張っておけばよかった…」と、中3になってから後悔している先輩達を何人も見てきました。今ならまだ間に合います。夏期講習では特に上の2教科の内容をしっかりと復習し、確実に理解して2学期に弾みをつけましょう。

【中学2年生】

中2はよく「中だるみ」の学年と言われます。部活では後輩ができ、先輩が引退することで中1の時のような緊張感が薄れるということや、受験学年ではないため、勉強に身が入らなくなる等等が理由として考えられます。この中だるみは、特に夏休み後の2学期に多く見られる傾向があります。夏休み中の交友関係が2学期以降に影響する場合もあるので、保護者の方はお子様の様子に気を配るように心掛けてください。生徒の皆さんは、中2の時期の重要性についてしっかりと理解しておいてください。高校入試では、中1と中2の学習内容からおよそ7割出題されます。ということは、中2が終わるまでに、それまでに習った学習内容をしっかりと理解しておけば、中3になってからの受験勉強の負担がグッと軽くなります。1学期に習った内容は、この夏期講習でしっかり理解し、定着させましょう。それが来年の自分自身の為になります。

英語では、1学期で時制をひと通り学んだこととなります。時制とは、現在形・過去形・未来形のことです。英語ではこの時制の違いが非常に多いので、夏期講習でしっかりマスターしましょう。

また、不定詞や比較など、入試で頻出の単元も確実に理解しておいてください。数学では、連立方程式と一次関数をしっかりと理解しておきましょう。特に一次関数は、入試問題で中3内容と複合して出題される場合が多い重要単元です。理解できるまで何度も演習しましょう。

【中学3年生】

夏期講習は受験生にとっての天王山。1・2年生の内容を一気に復習することができる最後のチャンスです。夏期講習が終われば、学校の実力テスト、塾では五ツ木模試、進研模試というテストが続く、ここで結果を残さなければ志望校を受験できるチャンスを失ってしまうこととなります。中3の夏期講習は昼の12時スタートなので、大半の生徒が部活動との時間の取り合いになるかと思えます。体力的にも精神的にも本当にきつい1カ月になります。ここでやり切れるかどうかは受験の大きなポイントです。部活で遅れたり休んだ分は、必ず全て補習を受けること。今年度からはタブレットを導入しているため、先生が空くの待たずに効率よく補習を受けることができるのが最大のメリットです。限られた時間を最大限に活用して、学習濃度を高めることを意識してください。中3は各教科ごとに、夏期講習終了時までには終わらせる受験用テキストやツールがありますので、必ず全てやり切りましょう。国語はタブレットを使って重要古文単語を覚える「解きメキ」、中1・2内容の総復習として、数学は「入試必修STUDY」、英語は、受験に必要な英単語を覚える「解きメキ」と文法の総まとめの「1・2年の総復習」、社会は地理と歴史の重要ポイントに絞って覚える「必勝問題集」、理科は各単元を総復習する「重点の完成」。

夏期講習の終盤には、2日間の9時間特訓を行う予定です。ここで上記教材や学校の宿題を全て終わらせます。苦しさを乗り越えた人だけが、喜びや達成感を味わうことができるのです。そしてその経験が、一生の財産になります。全員が最後に達成感を持って締めくくられるように、先生達も心を鬼にして全力で指導することを約束します。共に実りある夏期講習にしましょう!

